

東高瀬川の環境保護と地蔵盆プロジェクト

活動場所：伏見区 活動開始：平成27年5月～

龍谷大学・東高瀬川の
環境保護と地蔵盆
プロジェクトチーム



川久保町自治会
砂川学区自治連合会
東高瀬川を美しくする会
京都市立伏見工業高等学校システム工学科

■ 地域が抱えていた課題

京都の伝統行事の一つである地蔵盆は、町内会役員の高齢化や子どもの減少により形骸化している。子どもたちにとって、かつては夏休み最後の楽しみであったこの行事も年々衰退している。また、川久保町の地蔵盆会場である東高瀬川河川敷は、住民の草刈りや清掃活動を実施しているにもかかわらず、ゴミの不法投棄により景観を壊していた。

■ 取組（連携）のきっかけ

平成26年夏に川久保町の地蔵盆行事に学生がボランティアとして参加したことをきっかけに、平成27年からプロジェクトチームとして町内会に参加を申し入れ、以後、地域の地蔵盆に関わっている。当チームでは、河岸の草刈り、清掃、地蔵盆プログラムの企画から携わり、地蔵盆当日も準備、運営の一部を学生が担当している。

■ 具体的な連携の取組

地蔵盆の準備・運営のほか、子どもたちが通学路以外の町内の人たちと、自分たちのまちを知る「町内探索クイズラリー」を実施し、地蔵盆当日、来場が困難な家庭には、学生と児童が出向くなど、この取組をきっかけに、子どもたちと町内の大人が顔見知りになり、地域のつながりづくりのきっかけになっている。また、伏見工業高等学校の生徒と一斉清掃活動を共にしたことをきっかけに、同校の生徒にも地蔵盆プログラムに参加してもらうことになった。

■ 今後の活動

引き続き、地域恒例の東高瀬川一斉清掃活動への参加を継続する。また、地蔵盆会場である河岸の清掃などの環境保護対策の視野を拡げ、地域住民の憩いの場として、また、子どもたちの遊び場として利用いただけるよう、ゴミの不法投棄防止など河川を汚さない仕掛けを考えていく。そして、将来的には、この川にホテルを呼び込めるような河川にしていきたい。

■ 成果

①大学・学生の視点

地域の伝統行事の活性化を目的に学生が活動を開始したが、多世代の方々と交流することで、視野が広がった。東高瀬川の歴史だけでなく道具の使い方を教えてもらう等、親にも教わらなかったことを地域の方から学ぶことができた。また、多くの人が関わる行事の提案、準備、実施が決して平坦には進まないことを理解した。

②地域の視点

河岸の草刈り、河川清掃、地蔵盆会場の設営等の力仕事は、多人数の学生の参加で作業効率が高まった。「町内探索クイズラリー」は子どもだけでなく高齢の方にも好評であった。伝統行事の参加は、同じ町内に居住している住民同士が顔見知りになる機会である。通学路で近隣住民や子どもが挨拶を交わすことが安心・安全の確保につながり、伝統行事の活性化は、地域住民の顔が見える関係を構築するきっかけづくりとなった。

活動写真



京都市から「きょうと地域力アップ貢献事業者」の表彰状授与



伏見工業高等学校生徒による東高瀬川の報告



東高瀬川の草刈りと河川清掃



地蔵盆プログラム スーパーボールすくい



地蔵盆プログラム 町内探索クイズラリー 玄関先でクイズ



地蔵盆プログラム 数珠回し

